

筋炎特異的抗体の臨床的意義に関する研究

1. 研究の対象

浜松医科大学附属病院において「間質性肺炎を合併した多発性筋炎/皮膚筋炎における筋炎特異的抗体の保有率と臨床的意義 後向き観察研究」に同意いただいた方を対象とした研究です。

2. 研究目的・方法

多発性筋炎/皮膚筋炎の患者さんにおける筋炎特異的抗体の臨床的意義を研究し、治療に役立てることを目的としています。血液を用いて筋炎特異的抗体等を検査し、診療録の情報等と合わせてデータ解析を行います。研究に用いる試料や情報は、浜松医科大学附属病院において匿名化されます。当社は、匿名化された試料・情報の提供を受け、筋炎特異的抗体の検査を行います。研究期間は2015年10月から2020年9月までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：血液

情報：診療録、生理・血液検査、胸部CT写真、肺病理組織結果等

4. 試料・情報の安全管理

当社が扱う試料と情報は、浜松医科大学附属病院において匿名化されたものです。符号と研究対象者を照合できる対応表は、浜松医科大学附属病院内で厳重に保管され、当社が研究対象者を特定することはありません。試料と情報は、各施設の研究責任者が管理します。

5. 研究組織

浜松医科大学 内科学第二講座 穂積宏尚 助教

株式会社医学生物学研究所 学術部診断薬グループ 白壁修一

以上